

労福協 NEWS

2012.4 No.58

NPO等と企業・行政との 協働を考えるフォーラム 開催される



パネルディスカッション

<フォーラム出演者>

【コーディネーター】

NPO法人パートナーシップ・サポートセンター
代表理事 岸田 眞代 氏

【パネリスト】

NPO法人グリーンパレー
ICT担当理事 仁木島 昭 氏
株式会社リレイション 地域研究員 山口 良文 氏
NPO法人徳島共生塾一歩会 理事長 新開 善二 氏
港産業株式会社
代表取締役会長CEO 港 忠徳 氏

【ファシリテーター】

徳島県県民環境部 県民との協働課長 手塚 俊明 氏

【コメンテーター】

徳島文理大学 総合政策学部長 中村 昌宏 氏



展示パネル

3月21日、県内のNPO等と企業・行政との協働を考えるフォーラムが徳島グランヴィリオホテルにて開催された。

県労福協が中間支援団体となり、これまで3回にわたりNPO、企業、行政より有志を招いて検討委員会を重ねており、今回のフォーラムに至った。

フォーラムは、はじめにNPO法人パートナーシップ・サポートセンターの代表理事・岸田眞代氏から、「NPOとのパートナーシップで企業は伸びる」と題した基調講演が行われた。

続いてのパネルディスカッションでは、徳島におけるNPO等と企業の代表者による協働事例報告があり、「新しい徳島づくり」について行政関係者、学識者を交えた積極的な討論がなされた。

企業・経済団体から30人、NPO関係32人、行政関係25人ほか、委員メンバー、スタッフ合わせて111人が参加し、二部の交流会では自由な意見交換が行われた。



交流会

主催／徳島県 (社)徳島県労働者福祉協議会
共催／徳島県経営者協会 徳島県中小企業家同友会

(社) 徳島県労働者福祉協議会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくぴあ徳島
TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113
E-mail tokushima@rofuku.net URL <http://tokushima.rofuku.net>

労 福 協

『男性の育児休業取得促進セミナー』 ～家族のきずなを深めよう～

主催 徳島県労福協

- と き 1月30日(月) 18:30~20:00
- と ころ ふれあい健康館2階 第1会議室
- 内 容 講演「育児休業取得の現状について」
徳島労働局雇用均等室 室長 木村久美子氏
報告「育児休業を取得して」
事例① 西精工株式会社
営業部第1グループ 真尾 裕也 氏
技術課生産技術係 武田 伸二 氏
事例② (社)徳島県労働者福祉協議会
総務企画部主任 福本 純 氏
- 参加人数 45名
(県5名、企業関係10名、加盟団体30名)

事業主や人事労務管理者、勤労者等を対象に、1月30日、ふれあい健康館にて男性の育児休業取得促進セミナーが開催され、45名が参加しました。

セミナーでは初めに徳島労働局の木村雇用均等室長による「育児休業の現状について」と題した講演が行われました。木村室長からは、83.7%に上る女性の育児休業取得率に対して、男性の取得率は1.38%しかないことや、昨年度の県内の育児休業取得者が、女性は1,243人であったのに対し、男性はわずか11人と、まだまだ男性の育児休業取得が進んでいない現状が紹介されました。「男性が育児休業を取得することにより企業の業績が向上する」といった事例はないか。」という参加者の質問には、「残念ながら、そのような実績はデータとしてはまだ上がっていないが、しいて言えば育児を体験することにより人間力が向上し人材育成に効果を発揮するということと言えるのではないか。周りの環境をどう整えていくかという日ごろからの備えが大切である。」と答えられました。

続いて男性の育児休業取得者による事例報告が行われました。真尾さんは、「育児休業を1つのきっかけとしてほしいと思います。両親への感謝の気持ちが生まれ、その気持ちを子どもに倍にして愛情を注いでいくことが恩返しだと思

いました。多能化を進め、男女とも取得しやすい環境づくりが大切だと思います。復帰時には笑顔で迎えてくれた仕事仲間に感謝しています。」と述べました。

武田さんは、「妻に『私はあなたのメイドですか。』と聞かれていたのが、最近では聞かなくなり取得してよかったと実感しています。他の男性社員にもこれから堂々と取得してほしいです。そのときには全力でサポートしていきたいと思っています。」と力強く話しました。

福本さんは、「慶弔休暇と有給休暇を合わせて、数日~1週間ぐらい休めたらいいなあと考えていたら、長女のときには4週間、次女の際には8週間、育児休業を取得していいと聞かされびっくりした。とても良い環境で働かせてもらっていることに改めて感謝しています。」と気持ちを込めました。

会場の人の気持ちがあたたかくなるような報告を聞くことができ、男性の育児休業取得が広まっていくことを願いました。



育児取得2男性 体験を基に講演
徳島市でセミナー
男性の育児休業取得促進セミナー(県労働者福祉協議会主催)が30日、徳島市のふれあい健康館であり、企業の経営者や労務担当者、労働者ら約50人が参加した。徳島労働局雇用均等室の木村久美子室長が県内の育児休業の取得状況について説明。「2010年度は男性11人と女性の1%にも満たない低い水準」と指摘した。ナット・精密機械部品製造の西精工(徳島市)の男性社員2人は育児休業を取った体験を基に講演。次男が3カ月の時、13日間取得した武田伸二さん(44)は「育児と家事に取り組むことで家族から信頼が得られた」。10日間取った真尾裕也さん(28)は「育児を取りやすい職場の雰囲気とカバ―体制がしっかりしていることが大切」と強調した。(伊藤典文)

連 合

復興・再生に全力 [働くことを軸とする安心社会]を実現しよう



2月3日夕、労働福祉会館別館において「2012春季生活闘争開始宣言徳島集会」を開催し、県春闘共闘会議に結集する各構成組織から約200人が参加した。非正規労働者を含むすべての労働者の処遇改善に向けた3年目の闘いと位置づけ、適正な配分を求めて要求実現に向けて、給与総額の1%を目安に配分を求めることなどに取り組む方針を決定した。

集会は赤松共闘会議事務局次長の司会で、山下連合副会長の開会あいさつに続き主催者を代表して河村共闘会議議長（連合徳島会長）が「2012春闘は『働くことを軸とする安心社会』の実現に向け、すべての労働者の生活が改善される取り組みとして『公正』『安心』『安全』な社会の実現に向けた取り組みとなります。マクロ的な観点から、すべての労働者のために1%を目安に配分を求め、労働条件の復元・格差是正に向けた取り組みをすすめます。また、非正規労働者の正規化促進、均等・均衡待遇に向けた時間給の引き上げ、福利厚生等の不合理な適用の点検・是正など総合的な労働条件の取り組みを展開します。しかし、我々を取り巻く情勢は、『世界同時不況の瀬戸際』『米国景気の後退不安』『EU諸国の金融不安』『中国などの新興国の陰り』『急激な円高の高止まり』『タイの洪水による影響』など楽観視できない状況にあります。いまほど、労働運動の真価が問われている時はありません。『働くことを軸とする安心社会』の構築にむけ、すべての労働者が共に闘争に参加し、要求し、そして、労使で真剣に配分のあり方、均等・均衡処遇のあり方について話し合っていく、この春季生活

闘争の精神をもう一度呼び起こし、労働運動の存在意義を強く認識し合い、共闘を軸に総合力を発揮して、社会的春季生活闘争にしていきたいと思います。」と挨拶した。

続いて齋藤共闘会議事務局長（連合徳島事務局長）より、2012春季生活闘争の方針提起がされた。非正規労働者も含めた労働者の処遇改善に向けた三年目の闘いと位置付け、適正な配分を求めて要求実現に向けた闘いを講築し、労働条件の改善や格差是正の取り組み、労働時間など労働諸条件の改善に向けた闘いを講築するとともに、給与総額1%を目安に配分を求めるとの春闘方針を示した。

また、要求書提出は2月末、遅くとも3月までに要求書を提出し、ヤマ場における回答引き出しや妥結を目指し、県春闘共闘会議の開催する諸行動の結集と春闘キャンペーンを推進していくことなど春季生活闘争の方針と課題が提起され、全体の拍手で確認された。

その後、民間大手代表として寺西稔副議長、民間中小代表として平井敏郎副議長、公務労協部会代表として藤岡一雄副議長、地域部会を代表して原崎健児幹事からの決意表明に続き2012春季生活開始宣言(案)が提案され、全体の拍手で採択された。

森本佳広副議長（連合徳島副会長）の閉会挨拶後、河村和男議長の音頭で団結がんばろうを三唱して開始宣言集会を閉じた。



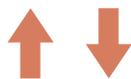
ろうきん

四国ろうきんの社会貢献活動

基本方針

四国労働金庫は、経済・福祉・環境・文化などの社会的課題への取り組みを行うと共に、NPO、市民活動団体をはじめ地域福祉の事業に対する支援活動を進めています。

「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めた「ろうきんの理念」の具体化を図ることを目的とした活動を続けます。



■ろうきんの基本理念

- ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
- ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
- ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
- 会員は、平等の立場で労金の運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
- ろうきんは、誠実・公平および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

四国ろうきん「助成金制度」

社会福祉、高齢者問題、文化や国際交流などの「福祉活動」を対象とし、非営利で、公共性の高い活動をしている団体に対し、応募申請をもとに審査・選定し、助成金を贈呈する制度です。

■助成金額

1 団体 20 万円以内
過去に助成実績のある団体は 10 万円以内

■詳細については

総合企画部 TEL.087-811-8004
E-メールアドレス：manage@shikoku-rokin.or.jp
または最寄りの営業店にお問い合わせください。

過去 10 年間に
306 件 5,330 万円の
助成をしています

■助成金対象団体の条件

助成対象団体は、NPO 法人、社会福祉法人、ボランティア団体、その他住民の福祉の増進を図ることを目的とする法人及び任意団体です。

- (1) 組織の運営に関する定款又は会則のある団体
- (2) 1年以上の活動実績を有し、引続き活動できる団体
- (3) 10人以上の会員を有する団体

※労働組合や労働団体、自治会・町内会（コミュニティ）、PTA、校区の子供会、婦人会、老人会等については、助成対象外といたします。

その他詳細は、各営業店の助成金申請書の応募募集要綱に記載しています。

四国労働金庫ホームページ <http://www.shikoku-rokin.or.jp> の助成金制度または NPO ボランティア団体お役立ち情報をクリックして助成金ページを参照ください。



ホームページアドレス
<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

金融機関コード 2987

全 労 済



安心して生きていく。自分も、家族も。

こくみん共済



個人定期生命共済・子ども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・終身生命共済・個人長期生命共済

大切なお子さまの教育資金と万一の保障の準備に

キッズタイプとキッズ満期金付プランをおすすめします!

キッズタイプ

月々の掛金

900円

加入できる方

満0歳～満14歳の健康な方
(最高満18歳の契約満了日まで保障)

2010年度の
割り戻し金★は
120円/月
(掛金の約13.3%)

- ★ 病気やけがで入院したとき
日額**5,000円**の保障(日帰り入院から保障)
- ★ 骨折や関節の脱臼、腱の断裂
50,000円(1共済期間1回限り)
- ★ けがによる通院
日額**2,000円**の保障



NEW キッズ満額金付プラン【セット加入プラン】

お子さまの教育資金と、万一の保障をお考えの皆さまへ

加入できる方 満0歳～満14歳の健康な方

■ご希望のコースをお選びいただけます。

中学入学準備コース 高校入学準備コース 大学入学準備コース

月々の掛金

例えば…「高校入学準備コース/50万円型」

満0歳加入・満15歳満了・満期金50万円の場合……

2,630円

コースの
組み合わせ
OK!



キッズ満額金付プランは **キッズタイプ** **キッズワイドタイプ** にセットできる満期金付生命保障プランです。
すでに **キッズタイプ** **キッズワイドタイプ** にご加入いただいている場合は、**キッズ満額金付プラン** を追加して
お申し込みいただけます。

★毎年5月末の決算で剰余が生じた場合、契約者に割り戻し金としてお戻ししています。また、割り戻し金は毎年決算の5月末時点で有効契約がある方にお戻しします。
●ここに記載されている内容は、共済商品・保障内容の概要を説明したものです。詳細についてはパンフレット等をお取り寄せのうえ、ご確認ください。

全労済徳島県本部 ☎088-625-2340

勤労者福祉ネットワーク



FC
S

徳島県
子育て

応援団

ファミリー・サポート・センター

こんな時も

- ☆ 学校行事・病院・冠婚葬祭など、子どもを連れて出かけにくい時
- ☆ 買い物・映画・コンサートなど、たまにはリフレッシュしたい時

ファミリー・サポート・センター事業について

「援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」がお互いに助け合う会員組織です。
 子育て中の家族が安心して、子育てと仕事の両立ができるような相互援助活動を行うものです。
 勤労者福祉ネットワークでは、各市町村より事業委託され、6つのセンターを運営しています。

お問い合わせ・お申し込み

徳島ファミリー・サポート・センター

(徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町)
 〒770-0942 徳島市昭和町 3-35-1 わーくびあ徳島(労働福祉会館内)4F

TEL 088-611-1551

阿南ファミリー・サポート・センター

〒774-0030 徳島県阿南市富岡町今福寺 40-17 阿南市社会福祉会館 2F

TEL 0884-24-5550

美馬ファミリー・サポート・センター

〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町 1303-3 美馬市社会福祉協議会内
 (美馬市)

TEL 0883-53-2528

〒779-4101 美馬郡つるぎ町貞光字宮下 61 つるぎ町社会福祉協議会内
 (つるぎ町)

TEL 0883-62-3669

板野東部ファミリー・サポート・センター

(藍住町・北島町・松茂町・板野町)
 〒771-1203 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前 32-1 藍住町勤労女性センター内

TEL 088-693-3033

鳴門ファミリー・サポート・センター

〒772-0002 鳴門市撫養町斎田字岩崎 146

TEL 088-683-0788

阿波市ファミリー・サポート・センター

〒771-1695 阿波市市場町市場字上野段 385-1 市場支所 2F 子育て支援課内

TEL 0883-36-3520



中小企業サポート事業

お気軽にお問い合わせください
 (独)勤労者退職金共済機構
 中小企業退職金共済事業本部
 ☎(011)3343611(代)
 ☎(011)3343610
 ☎(011)3343610

- 国の制度だから安心・確実!
- 新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。
- 掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。
- 外部積立型だから管理が簡単!
- 従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。
- ◎ パートさんもご加入いただけます
- ◎ 適格退職年金制度からの移行先です。

ご存じですか?
 「中退共」の
 退職金制度
 なら、掛金
 に国の助成
 が受けられ
 ます。

詳しくはホームページをご覧ください

中退共

検索

生活協同組合 徳島県勤労者住宅協会 清算終了の報告

生活協同組合 徳島県勤労者住宅協会
代表清算人 久積 育郎

生活協同組合徳島県勤労者住宅協会は昭和42年12月徳島県内に働く勤労者の住宅環境を改善する目的で設立され、以来三好郡から海部郡の広域にわたり、1,124戸の住宅、490区画の住宅の供給を行ってきました。

この間オイルショックによる地価、建設資材の高騰、勤労者の実質賃金の伸び悩み、バブル崩壊による地価の下落、長期にわたる景気の低迷など、幾多の難関を迎えながらも関係各位のご支援やご協力を仰ぎながら事業を継続してきましたが、住宅産業における競争激化や勤労者の住いに対する意識の変化等により住宅生協の役割である勤労者に割安で良質な住宅を供給するという本来の任務を全うすることが徐々に困難となってきました。

このような住宅事業を取り巻く厳しい環境の中で昭和62年度損失を計上し先行きの不安を解消すべく再建



委員会が設置され、平成2年度には再建委員会に指摘された項目の整理が完了したので平成3年度からは新規事業は行わず事務局も常勤者不在で運営をしてきました。

平成20年には業務受託先である日本勤労者住宅協会が破産手続きを開始し、現在も残務整理を続けております。

平成20年度には当組合も解散準備に着手し、資産の処分、あるいは債務の整理等組合解散に向けて準備を進めてきました。

昨今の経済環境で今後組合が新しい事業をなし、県下勤労者の住宅環境を改善することは困難であり、当組合の解散も止むを得ないと考え、解散に至った次第であります。

平成23年5月27日開催の平成23年度第1回臨時総会において生活協同組合徳島県勤労者住宅協会の解散の決議を得て、平成23年7月29日徳島県

より解散認可を受けました。

認可後の平成23年8月1日解散登記並びに清算人登記を完了しました。

また解散公告は平成23年9月16日官報および徳島新聞に掲載しました。

清算事務については平成23年10月11日第2回臨時総会(清算事務開始総会)において承認を得た解散時の貸借対照表、財産目録に基づき事務を行ってきました。

残余財産処分について

1. 流動資産に計上された年金融資分譲住宅の代金未収分799,988円は一括返済を受けました。
2. 固定資産に計上された出資金450,000円は返済を受け清算財源に計上しました。
3. 電話加入権は(社)徳島県労働者福祉協議会へ贈与しました。
4. 徳島県勤労者住宅協会所有の不動産は、不動産所有地の市または当該自治会や利害関係人への寄付により所有地の移転を完了しました。また当組合を名義人としていた電柱敷地料受取人名義についても関係自治体または団地自治会に名義変更を行いました。
5. 以上の如く資産の処分、債権の回収、債務の完済を終了した結果、残余の財産はありません。

組合員の出資金について

定款67条は「この組合が解散(合併または破産による場合を除く)した場合には、組合は債務を弁済した残余の財産を払出資額に応じ配分する」とありますが、組合債務弁済後、出資の払い戻しに充当する残余財産はなく払い戻すことはできません。

平成24年度3月7日、平成23年度第3回臨時総会(清算終了総会)において清算終了の承認をいただき清算のすべてが完了しました。

長期にわたる組合員各位、関係諸団体各位のご支援、ご協力を心より感謝申し上げます、清算終了のお礼とご報告を申し上げます。

以上のとおり

労福協

福祉セミナー in とくしま 10

主催 徳島労福協

「福祉セミナーinとくしま10」一大震災・介護不安の中の生活を考える」と題し、去る2月18日(土) 13:00~ヒューマンわーくびあ徳島5階ホールにて開催されました。

社会福祉士、ヘルパー養成講座修了生、労福協なのはなヘルパーをはじめ、会員団体など108名の参加がありました。

第1部に岩手県・特養ホーム敬愛園(前)施設長の大泉 勝さんより『東日本大震災と老人施設について』何が問われているか、岩手県からの報告を27ページに及ぶ資料をもとに被災の状況、直後からの施設の様子、そして施設の役割、福祉施設に発電機設置がない、また大災害を想定したマニュアルが無いなどの問題点をお話いただきました。今後いつどこで起こるかもしてない震災をどう乗り越えるか、災害に備えて、福祉面での広域的な連携の必要性を感じました。

第2部は「福祉なんでも相談ダイヤルの一年」、次いで、

「東日本大震災のボランティアに参加して感じたこと」と題して報告がなされました。



フードバンク研修会 in 徳島 開催される

主催 徳島労福協

今日明日の食べ者にも困っている人がいる一方で、賞味期限が来ていないにもかかわらず印字ミスや梱包の破損等により年間900万トンもの食糧が廃棄されています。徳島労福協では、これらの資源を再利用すると同時に食糧を必要



としている個人や施設などに供給するフードバンク事業の設立を目指しています。さて昨年11月に開催された

労働者福祉メーデーでは日本に初めてフードバンク事業を立ち上げたセカンドハーベスト・ジャパンから主幹の服部芳弘氏を招いて講演をいただきました。そして、2012年1月26日、ヒューマンわーくびあ徳島において「フードバンク研修会in徳島」を行いました。基調講演では、フードバンク高知(高知あいあいネット)代表である青木美紀氏からフードバンク高知の活動内容について説明がありました。

また研修に先立ってNPO法人ワーカーズコープ徳島川内地域福祉事業所の協力のもと、昨年9月から10月に徳島県における一般世帯、食品関連企業、福祉施設、団体を対象としてフードバンクの認知度を測るためのアンケート調査を行っており、今回の研修会にてその結果報告が行われました。

表 「フードバンクに関する意識調査」結果より一部抜粋

	【フードバンクの認知度】 「知らない」回答	【フードバンク活動への賛否】 「賛成」回答
一般世帯 1,000 件 (回答 207 世帯)	76.8%	80.6%
施設・団体 34 団体 (回答 26 社)	89.0%	74.0%
食品関連企業 35 社 (回答 27 社)	81.0%	65.4%

この事業は就労阻害要因を抱えた若者の中間就労の場としての役割も持っており、徳島労福協では今後企業や関係団体等と協力しながらフードバンク設立に向けた事業展開を進めていきます。

エコキャップ推進運動 -中間報告-

累計 241,608 個
(ワクチン 302.0 人分)

回収期間: 2008.9.6 ~ 2012.3.5

徳島労福協では、加盟団体をはじめとする多くの方のご協力により、これまでに241,608個のキャップを回収し、エコキャップ推進協会へ発送いたしました。

引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



地域労働者福祉協議会の活動

ベストカップルのためのライフプランセミナーとランチバイキング 報告

主催 徳島中央ライフサポートセンター

2012年1月14日(土)、年も明け、新春を飾るイベントに相応しい企画として、新婚や婚約カップルを対象にした「ライフプランセミナーとランチバイキング」を、若者に大人気の「ザ・パシフィックハーバー」において実施し、カップル19組(38人)と主催者側11人、計49人が参加しました。

セミナーは講師に、ファイナンシャル・プランナー、消費生活アドバイザーとして、県内外で活動され、テレビやマスコミを通じてご活躍されている「加渡(かど)いづみ」さんをお招きし、「二人でつくる新婚カップルのためのマネープラン」と題した講演を実施し、その後の昼食会では、講師を囲み、結婚式会場でのランチバイキングを楽しみました。

主催は、徳島中央ライフサポートセンター、四国労働金庫徳島地区推進委員会、全労済徳島県本部の共催で、冒頭、主催者を代表して徳島中央ライフサポートセンター会長森本佳広氏から「将来の夢を実現するためには、お金が必要であり、若いうちから長期間にわたって無理なく貯める計画を立てることが、急激な環境の変化にも対応できる」との挨拶がありました。



加渡先生のお話は分かりやすくユーモアがあり、時々笑い声が聞こえる中、なるほどと思わせるところがいっぱい、参加者にとっては随分と勉強になったことと思いました。

〈お話のテーマ〉

- いかにも楽しくお金と付き合っていくか
- 夫婦間でこれだけは言ったらいけないお金に対する3大禁句
- 「赤残自転車体質」と「当て込み消費」は絶対にやめること
- 消費行動の見直しをすること
- お金を仕分けすること
- ライフプラン・人生の3大設計と資金計画
- マネープランを二人でしっかり話しておくこと
- 女性の働き方は多様である
- 40代のライフプランと家計管理



人権研修会「ふるさとに帰りたい」 ～無知からの偏見・差別～

いわれのない差別に
虐げられてきた人達の傷みを今考えよう！

- 日 時 平成24年4月18日(水)
18:00～20:00
(受付18:00～ 講演18:30～)
- 会 場 徳島県労働福祉会館502会議室
徳島市昭和町3丁目35-1
- 講 師 徳島県ハンセン病支援協会
会長 十川 勝幸氏
- 主 催 徳島中央ライフサポートセンター
連合徳島中央地域協議会
- 申込方法 電話又はFAX(4月16日締め切り)

<申込み/問合せ>

徳島中央ライフサポートセンター

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1労働福祉会館5F
TEL/FAX 088-623-4105

ZENROSAI NEWS

社会貢献付 火災共済 エコ住宅専用

風水害等給付金付火災共済

エコ住宅専用の 保障プランができました。

地球環境にやさしいエコ住宅に住みながら、住まいの保障でも環境に貢献する。そんな保障プランが社会貢献付エコ住宅専用火災共済です。これまでの火災共済と同じ保障内容で掛金は割引に。さらに毎年の決算状況に応じて掛金の一部を全労済から環境活動団体へ寄付します。全労済はこれからも、環境活動への貢献を側面から支援していきます。

お問い合わせ

全労済 〒770-0942
徳島市昭和町3-35-1
労働福祉会館1F
徳島県本部 ☎088-625-2340
(徳島県共済生活協同組合) 営業時間/9:00~17:00
(土曜・日曜・祝日を除く)

●掛金 (年払いのみとなります)

住宅構造	木造・モルタル等	鉄筋コンクリート
1口あたりの年掛金	68円	39円

※住宅・家財とも同じ掛金です。



●加入できる住宅 (下記のエコ設備を設置し使用している住宅)

オール電化住宅の電気設備*
(給湯・厨房・空調設備といった家庭内の熱源をすべて電気でまかなう住宅)

自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯器
(例 エコキュート)

太陽光発電システム

ガスコージェネレーションシステム
(例 エコウィル)

潜熱回収型給湯器
(例 エコジョーズ)

●最高保障額

通常の火災共済と同じ口数となります。

住宅:4,000万円(400口)
家財:2,000万円(200口)

■加入申込みに際しては、共済掛金の一部を全労済が選定する環境活動団体に寄付する旨についての同意が必要となります。

※オール電化住宅としての電気料金の割引適用等で確認することもできます。
注)上記設備に該当するのかが不明な場合は、全労済までお問い合わせください。

助け合いから生まれた保障の生協です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

はたらく人の、生活応援バンク

Rろうきん

ろうきんは、営利を目的としない金融機関。
サービスのすべては利用者の生活向上のためにあります。
春、新しいことにチャレンジしたくなるシーズンです。
かづよく一歩を踏み出したいあなたにOK!のろうきん。

ROK!N

ほら、ろうきんにはOK!がある。

ろうきんイメージモデル 高垣麗子

発行 社団法人 徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島内)
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://tokushima.rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 久積育郎
印刷者 (有)フォトプリント白石